

えりも町議会

議会だより

令和2年2月1日

No.32



P 2 令和元年度12月定例会
議長年始挨拶

P 3-6 一般質問6名 9件

P 7 (株) 北海道中央牧場
えりも農場を訪問

P 8 全員協議会

P 9 所管事務調査

P 10 「この人に聞く」
えりも町国保診療所
荒井所長にインタビュー

令和2年1月5日（日）晴天のもと、毎年恒例の「えりも町消防団出初式」が行われ、多数の町民が沿道で見守る中、総人員110名、車両8台が出動し、本町市街地を分列行進しました。その後福祉センターにおいて、消防に功労のあった富野三仁分団長ほか23名の方が表彰されました。



えりも町議会第4回定例会

補正予算

〈一般会計〉歳入

・ふるさと納税寄付金

1億5000万円

ふるさと納税寄付金が昨年度より増額予想のため

〈一般会計〉歳出

・修繕料

93万9000円

えりも高校横の物置を災害備蓄品倉庫に改修及びバス待合所の修理

・工事請負費

111万7000円

えりも高校教員住宅屋根葺き替え工事

〈診療所会計〉歳出

・報償費

3007万7000円

診療所代診医師に対する報償費が不足のため

条例制定

・第一号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例

・第二号会計年度任用職員の給与に関する条例

新年度から地方公務員法及び地方自治法の一部が改正され、従来の臨時・非常勤職員の適正な任用・勤務条件を確保するため「会計年度任用職員」として移行・制度化されることに伴う条例の制定

「第一号会計年度任用職員」（短時間勤務）と「第二号会計年度任用職員」（フルタイム）に分類され、期末手当の支給も可能になる

【年頭の挨拶】

えりも町議会議長 石川 昭彦



新春を迎えるに当たり一言ご挨拶申し上げます。昨年には統一地方選挙が行われ、えりも町議会においても新人四人が当選され、新しいスタートをきる事となりました。

選挙後の初議会において私が議長に、副議長には大坂庄吉議員が選出され、一人とも初の就任であり、日々重責に緊張しながら任務を果たしている所であります。昨年は平成から令和へと元号が変わり、平穏な日々を願っておりますが、全国的には秋の台風によつて大きな災害が発生してしまいました。幸いにもえりも町では大きな被害もなく終わりましたが、今後の災害にいかに対応するべきか考えさせられる年となりました。

また、一番の問題として人口減少に歯止めがかからず、生産力の低下が心配されます。漁業や農業の落ち込みは他の商業・工業へ波及し、医療や交通、教育や購売にも大きな影響を与えてしまいます。しかし、この町に住む私達は前を向かなくてはなりません。うに祭りや秋のフェスティバルには、多くの人が集まり、ふるさと納税も好調に推移していることは、えりも町の魅力を端的に表したのと言えます。昨年から大型の養豚場が町内に進出しましたし、数年後には国内最大規模の風力発電の計画も予定されており、今後も様々な問題に直面するとは思いますが、議会として少しでも町民の声を拾い、住み良いまちづくりに努めて参ります。どうか今年も皆様が健康で幸多い年であります事を念願し、年頭のご挨拶と致します。

一般質問

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動の場です。町政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

問 建設発生土の有効利用を 答 収益事業は考えていない



橋本 維応議員

問 橋本 議員

町内の建設工事で発生する残土や浚渫（しゅんせつ）時の海砂は、町の建設発生土堆積場に受け入れているが、場内使用料金として一立方メートルあたり使用料を徴収してはどうか。

発生した残土を町有地二か所に保管し、町有牧野の段差の補正や他の工事で再利用している。

収益事業に町が取り組むかどうかの判断は、収入と経費をよく調査し、検討・判断すべきと考える。

現在町内では、公共工事以外で、大量に残土がでるような大規模工事の予定はなく、風力発電計画も環境影響評価の段階であり、工事が具体化しているわけでもない。

また、浚渫した海砂は、良質なものを販売し再利用してはどうか。今後、大規模風力発電の計画もあり、発生土を受け入れ、有効活用を考えてはどうか。

答 建設水道課長

町では、公共工事で

発生した残土を町有地二か所に保管し、町有牧野の段差の補正や他の工事で再利用している。収益事業に町が取り組むかどうかの判断は、収入と経費をよく調査し、検討・判断すべきと考える。現在町内では、公共工事以外で、大量に残土がでるような大規模工事の予定はなく、風力発電計画も環境影響評価の段階であり、工事が具体化しているわけでもない。人口減少が経済活動や国・地方の財政に及ぼす影響を考えると、自治体が自前でお金を生み出す努力は非常に重要な課題と考える。今後、町の中にある資源等に価値を見出し、収入増につなげるという視点を大切にしていきたい。

問 橋本 議員



東洋地区の土砂堆積場

当町には本町、庶野の両地区に放課後児童クラブが設置されている。昨今は、少子化で児童数は減っているが、共働き世帯の増加などで放課後児童クラブの利用者は増加している。そこで、

- ① 放課後児童クラブの利用状況、指導員数及び労働条件は。
- ② 運営時間を延長したことはあるか。またそのニーズはあるか。
- ③ 施設の耐震化と修繕の有無は。
- ④ 他地区からの利用状況は。
- ⑤ 新たに塾の機能を備えてはどうか。

問 放課後児童クラブの現状は 答 有効利用されている

答 社会教育課長

① 定員は、えりも40名、庶野20名で、登録者数は、えりも44名、庶野22名と定員を超えているが、平日の利用者実数は、えりも約30名、庶野約15名である。

④ 現在、他地区から1名の利用がある。

指導員は、えりもは正職員1名、臨時職員4名で、利用者が多い時には、担当課の職員が交代で勤務している。庶野は再任用職員1名、臨時職員3名である。

⑤ 塾は、本来教職員免許状を有する方が学力向上を目的に行うもので、児童クラブの目的は、児童を預かることなので特に考えてはいない。

臨時職員の勤務体制は、平日は午後2時から6時まで、土曜日は午前8時30分から午後6時までで、週約20時間を目安にしている。

また、当町の児童は家庭学習の時間不足があり、預かりの中で家庭学習の習慣を身につけ、宿題や学習プリントなどで自ら学習する時間を設けている。

② 運営時間の延長は、要望がないため考えていない。

今後、家庭学習習慣の定着に、クラブ利用を生かして進めていきたい。

③ 両施設とも耐震強度はあり、特に修繕箇所はない。

家庭学習の習慣が身につく好評の放課後児童クラブ



家庭学習の習慣が身につく好評の放課後児童クラブ



中野 公浩議員

問 大型台風災害の対応は

答 適切な避難情報を発信する

問 中野 議員

問 関東・東北地方を襲った台風19号の大雨は大きな被害をもたらした。今後、このような大型台風が日本全土を襲来する事は充分に考えられる。

この図では台風が直撃した状況と同じような、歌別川が1時間雨量100ミリ、猿留川が同じく60ミリの大雨が降った時の避難の目安となる氾濫域を示しており、関係機関の許可を得て、町のHP等で公開することを検討している。

町内の河川は、降水量500ミリを想定して設計されており、もし1000ミリに達するような降水量の場合には、河川の氾濫や堤防の決壊、土砂災害や浸水する箇所もあると考えられる。

また、洪水ハザードマップを作成し、町民の安全を図るべきでは。また、洪水ハザードマップを作成し、町民の安全を図るべきでは。

答 企画課長

量100ミリ、猿留川が同じく60ミリの大雨が降った時の避難の目安となる氾濫域を示しており、関係機関の許可を得て、町のHP等で公開することを検討している。



関東・東北では台風による大雨で堤防が決壊し甚大な被害が発生。

問 歌別地区の町営住宅の老朽化対応は

問

問 中野 議員

答 建替の目途はたっていない

答

歌別地区の町営住宅は、築40年以上が経過し老朽化が激しいため、①リフォーム又は建替はしないのか。②耐震化工事はしないのか。③漁業を新規に就業するには、地区内に住まなければならない、参入する方は住居を確保するリスクがあるため、住宅が必要と思うが。

①町は「公営住宅ストック活用計画」を定め、平成14年度から建替を進めている。この計画では町営住宅は対象となっておらず、現時点で町営住宅の具体的な建替の目途はなく、今後の検討課題と考える。②すでに建設から40数年経過し老朽化が著しい状況では、耐震工事のみ実施するのは難しい。③漁業後継者のための住宅整備は、町の基幹産業である漁業をどのように発展させていくのか、課題となっている担い手の確保に行政が、どのようなサポートをすべきかといった問題につながってくる。

④各地区に町営住宅を設置しなければ地区が衰退し、限界集落になってしまう可能性もあると考えるがどうか。

答 建設水道課長



老朽化が進む歌別地区の町営住宅

様々な制限がある公営住宅が、漁業の担い手確保に役立つのか、そのほかに行政としてもっと効果的な施策はないのか、幅広く意見や提案を聴くことが必要と考える。④人口減少が著しい市町村では、中心市街地に施設を集中してまちづくりを効率的に進める考え方もあるが、当町のように地域に漁港が整備されたまちでは、集約化が良い効果をもたらすとも限らないことを認識しながら、今後取り組み組んでいきたい。



上野 陽司議員

ふるさと納税使途に 各種団体等の要望を

答 今後も要望を聴いていきたい

問 上野 議員

ふるさと納税は、昨年度3億円の寄付金で1億4千万円の収益を出しており、有効な財源確保の手段である。その使いみちは、産

業・観光の振興、保健・福祉及び医療の充実、生活環境の整備、教育・文化活動の振興、指定なし、この5点の中から申込者が選択するようになっているが、

①事業の「使いみち」と「金額」は、どのような基準で決定しているのか。

②各種団体や自治会の活動は町の活性化のために大切であり、これらの活動を直接的に支援することで、町民の方が本事業にさらに理解を深めることと考える。

使いみちについて、各種団体や自治会の要望を取り入れる考えはないか。

答 総務課長

①どの事業に充てるという明確な基準はないが、寄付をした方が選択した分野ごとに、事業の必要性や優先順位、財源の内訳などに

ついて精査・検討し決定している。

充当額の基準についても、明確なものはないが、現状としては、寄付金を充当する事業の一般財源の全てを賄うことを基本としている。

②財政運営は、どのような経費に対して、どのような財源を充てるか、という考え方が原則であり、政策の決定にあたっては、町内各団体などからの要望も重要と考える。

過去には、担当課ごとふるさと納税寄付金を活用した事業の募集を行っており、今後も同様の取組を実施したいと考えている。



ふるさと納税の返礼品は魚介類が人気



石川 昭彦議員

高齢化社会への対応は

答 プールに運動設備は考えていない

問 石川 議員

高齢化社会を迎え、医療や介護、交通手段の確保などを充実させなくてはならない。

また高齢者になっても元気でいる事が一番大切であり、それは町の生産人口の確保にもつながると考える。

健康でいるために冬場でも運動できる場所や設備を、プールの建設に合わせて計画すべきではないか。

病気などで障がいが残った人も、リハビリによっては社会復帰が出来ると思うが。

答 教育長

教育委員会としては今回のプール建設に運動設備は考えていません。トレーニング器具は、子ども議会でも取り上げられたとおり、学校プールは通年使用でないことなどから、設置しないことで了解済み。

現存する施設の町民体育館が通年使用であり、管理面からも適切と考えたところであり、できれば、一部改修の

中で、広さに応じ器具を設置できればと考えている。

答 保健福祉課長

高齢者の健康寿命をのばすために介護予防教室、運動や料理教室、栄養指導、認知症予防教室をはじめ様々な事業を開催し、運動不足の解消や生活習慣の改善に取り組んでいる。また、疾病を早期発見・早期治療するための特定健診や各種がん検診などの受診率向上に努めていく。



旧温水プールの内観



高松 亮裕議員

路線バス利用者増加を

まずは利用者の 現状把握から

全国的な運転手不足も加わり、減便となれば町民の利便性を確保するため、税金を投入して維持してもらえないが、同じ税金を投入するのであれば、バス運賃を引き下げて町民に還元し、利用者を増やすことを考えてはどうか。

鉄道廃止を機に、バス事業者に譲歩を求め

るだけではなく、事業者との信頼関係を築き、町民にも現状をよく理解してもらい、極力、バスを利用してもらい、バスを利用してもらうようお願いをする必要ではないか。

運賃表を全戸配布する、公務員は週に1〜2回はバスを利用するなど様々な対策を早急に広く議論すべきでは。

答 企画課長

バス運賃の引き下げは、観光客など一概に町民への還元とならない部分もあり、すぐに

高齢化の時代、バスは絶対に維持すべき移動手段であるが、当町ではあまりにも利用者が少ない。

取り組むのは難しい。

運賃表の全戸配布は、運賃や時刻のほか、料金支払い方法やバスの乗り方など、JR北海道バスと協議し配布したい。

公務員のバス利用は、ノーカーデー等の取組を推進している自治体もあり、実施状況や効果を確認したい。

現在JR北海道に対し各バス停の乗降者数等データの提供を依頼しており、代替バスの個別協議や将来的な地域公共交通のあり方の検討に生かしていきたい。



庶野く広尾間はえりも町、広尾町で経費を負担し運行継続中

問 高松 議員

近年、不登校生徒が増加傾向にあるが、当町においても相当数いると聞く。

改善に向けてはコミュニケーションを図り、当該生徒や保護者との信頼関係を築くことが何より大切なことと考

改善へ

地域をあげて不登校ゼロに

外部機関との連携で

答 教育長

えるが、どの程度家庭訪問をして接してきたのか、不登校の原因は何か、改善の方向に向かっていくのかどうか。えりも町が目指す「地域学校」の理念からも、町民にも不登校の現状をよく理解し、寛容の心を持っていただき、改善に向けて協力してくれる人を増やしていくことが長い目で見れば必要である。

学校運営協議会での問題の共有や対応も必要と考える。近年、情報機器の弊害や地域・家族など社会の変化の中で、生徒個々の様々な要因を十分熟知して対応しなければならず、学校のみでの不登校の改善は難しい。

家庭訪問は週に一、二度担任などが行い、毎回会える、会えずに文書だけ置いてくる、不在など様々である。不登校は人間関係、家庭、環境対応、病気など、これら複合的な要因によるものと考え

カウんセラーや心療内科医師などの専門機関を含めた外部関係機関と学校・教育委員会が強い連携を図って進めていく。



大坂 庄吉議員

問 子ども議会の対処は 答 「修繕」は優先順位が 高いと考えている

問 大坂 議員

今年で10回目となる、子ども議会が11月18日に開かれ、11人の児童生徒から学校の施設整備や観光、交通対策など様々な質問があった。特に学校生活の中で緊急を要する修繕につ

いては、「ふるさと納税」を活用するなど、次の3点についての対応は。

① 岬小学校音楽室のカーペットの修繕は。

② 中学校音楽室の室温管理は。

③ 若者の集える場所にトレーニング機器の設置を。

答 学校教育課長

① 「音楽室のカーペットが破損し、テープで一時補修をしているのは承知しているが、もう少し待ってほしい」と答弁した。補修方法としては、部分補修ではなく全面補修を考えている。

② 室温管理は、「窓が開くことから、当面扇風機などで空気の入れ替えができるものを検討したい」と答弁した。換気方法については、扇風機、換気扇、エアコンなどを考えている。

これら二点の修繕については、優先順位の高いものとして考えており、「ふるさと納税」の活用も財源確保の選択肢として考えている。

答 社会教育課長

③ 「安全管理面から町民体育館に設置することが最適であると考えており、設置する機器の内容などを精査し、町民体育館の一部改修も視野に入れながら検討を進めたい」と答弁した。

設置の時期は、町全体の施策と調整しながら検討していきたい。



全面的に破損が目立つ音楽室

〔株〕北海道中央牧場えりも農場を訪問



国道沿いにある当農場の看板

1月24日、株式会社北海道中央牧場えりも農場で、鹿児島県生まれ、転勤が国内14か所目となる塚野農場長にお話を伺いました。

まだ建設中の建物が見られるものの、すでに昨年8月には雌の種豚210頭が搬入され、妊娠期間は4か月弱で今年3月から順次出産が始まるそうです。

77日後には音更町の肥育農場へ移され、100日ほどで120kgに育った豚は、新冠町の食肉センターで製品となります。

3月出産ラッシュ 生後77日で音更農場へ

現在えりも町出身者は、男2名、女7名、そのほか千歳や赤井川の中央牧場から7名、浦河町から1名、モンゴルの実習生が3名で合計20名の従業員がいます。

えりも町出身の従業員は、豚の生産に携わるのは初めてですが、勤勉でチームワークが良く、大変優秀であるとお褒めの言葉をいただきました。

当牧場の豚肉は、「夢の大地」のブランドで主に関西方面で販売され、日高管内では新冠町の道の駅レコード館の売店で購入できます。

将来的には、えりも町での販売や各種イベントへも出店し、地元にも貢献していきたい。

また、衛生・防疫の徹底を図ることがとても重要であり、町民の見学などにも対応することができず恐縮とのことです。

小学生以来となる、住居から海が見えることに大変満足されている塚野農場長、ますますのご発展をご祈念申し上げます。

5つの案件を町と協議 (抜粋して2件を掲載)

高齢者センターの改修 (素案)

多世代交流の場として新機能を追加

1. これまでの経緯と改修に対する考え方

- ・昭和63年12月、旧苫別分校を改築して整備された、町内初の老人専用の施設である。
- ・町財政は厳しく、単独での移設・建替は困難と考え、最低限の改修(屋根、壁、ボイラー等の改修)で維持することとする。
- ・3千万円以上の費用がかかるのであれば、新たな機能を追加し、家族連れなど多世代の方にも利用できる施設とし、高齢者センターという名称も変更したい。

2. 改修内容

屋根	全面葺き替え
外壁	全面塗装
ボイラー等	取り替え
各室共通事項	クロス張替、照明LED化、暖房機器の更新
風除室・玄関	スロープ新設
集会室	衝立、テーブル、イスを設置
和室(2室)	家族向け休憩スペースとして開放、キッズルームの新設
洋室	カラオケの設置
トイレ	段差の解消、衛生器具の交換
脱衣室	コインロッカーの設置
浴室	タイルの張替
浴室屋外	女性用浴室前に侵入防止柵

〈議員からの意見〉

- ※外壁は塗装だけでは不十分ではないか。
- ※経済効果を考えれば、本町地区に建設すべき。
- ※若い人を対象にするのであれば、サウナを。
- ※風車や木質バイオマスでお湯を沸かしては。



集会室は、人目を気にせずゆっくり休憩できるスペースを設ける案が出ている

公共施設の再編

各共同作業所等廃止か

えりも町公共施設検討委員会で協議した結果を報告。

対象施設名	今後の方向性
大和共同作業所	用途廃止を念頭に自治会と協議
歌別共同作業所	〃
東洋共同作業所	〃
庶野共同作業所	〃
美島共同作業所	〃
東洋第2生活館	〃
目黒火葬場	令和5年度、解体予定
コミュニティーセンター	利用者減少、老朽化で用途廃止に向けて調整
旧第4分団詰所 防災資機材倉庫	多額の修繕費用がかかる場合は解体
境浜公衆トイレ	用途廃止・解体に向けて調整

〈議員からの意見〉

- ※境浜公衆トイレはサーファーや昆布拾いの方の利用があるようなので十分調査をすべき。
- ※境浜公衆トイレの清掃料金が高すぎる。
- ※共同作業所廃止は地元と十分な協議を。

ほかに、①町建設機械使用条例の改正、②診療所荒井副所長の所長昇格と給与改定、③JR日高線について、協議。

所管事務調査

総務文教常任委員会 委員長 成田一人
 副委員長 笹谷廣喜 委員 橋本維応
 神田 修 上野陽司
 産業民生常任委員会 委員長 高松亮裕
 副委員長 渡部 泰 委員 大坂庄吉
 竹内孝文 中野公浩
 議長 石川昭彦

調査日 令和元年10月30日(水)

① 橋梁長寿命化事業（咲梅橋）について

咲梅橋は、咲梅トンネル入口手前の目黒側に位置しており、元々は開発局が昭和49年度より供用開始したものであるが、平成16年より当町に移管されている。

潮風による塩害、そして経年劣化を主要因とした橋桁のひび割れや鉄筋露出等の損傷が見られ、7月中旬からの工期で「えりも町橋梁長寿命化修繕計画」に基づいた補修工事が行われている。現地では、すでに伸縮装置の取替工事を完了し、今後は湧水の噴出を防ぐ橋面防水工事を行う予定であると担当課から説明を受けた。

工期は12月までとなっているが、事故のないように作業員の安全に留意していただくとともに、周辺は拾い昆布漁の漁業者が多数訪れる場所でもあるので、漁業者の安全確保においても十分配慮願いたい。



工事が進む咲梅橋

② 福祉センターのトイレ改修について

本改修では、和式トイレが洋式の温水洗浄便座へと変更され、1階には新たに多目的トイレが設置されている。多目的トイレには、車イスの利用者を考慮した可動式手すりが設置され、さらにベビーチェアとおむつ交換台も備えた。また、町内の公共トイレでは初となるオストメイト対応トイレとなっている。

当該施設は、文化活動・学習活動の拠点としての役割を中心に、多種多様な用途と幅広い年齢層が利用している。今回行った改修のように年齢や障がいの有無、置かれた状況にも関わらず、施設を利用しやすい環境を整えることは有意義なことであり、今後も進めてもらいたい。

本施設は2階への移動手段が階段のみという点が従来から問題となっている。建築基準法や耐震化の問題などクリアすべき点が多く、担当課でもいろいろと思案しているようであるが、新たな移動手段の対応を願いたい。



身障者の方も
使いやすくなりました

③ ふるさと納税について

当町のふるさと納税は、平成27年の5億3,800万円をピークに減り続け、昨年は3億円にまで減少している。

減少要因については、自治体間の返礼品競争の過熱に加え、総務省からの「返礼品は寄付額の3割以下の地場産品」という通知を、努力義務とは言え無視する自治体に寄付が集中したことではないかと担当課から説明を受けた。返礼品の条件を明確にし、総務大臣の許認可制となった本年度からは、前年同時期と比べて1.8倍増の1億7,200万円となっている。また、寄付額の増加は、仲介サイトを5つ増やしたことも要因で、これらのサイトだけで寄付額全体の4割を占めており、新たな取組の成果が結果となって表れている。

当町の返礼品は、他町の同種類の返礼品に比べ、割高に感じることも少なくない。品質の良さが裏目に出ている形であるが、業者と協議して改善策を講じるとともに、欠品とならないように配慮してほしい。

行財政の厳しさが続く中、本制度は自主財源の確保という面で非常に重要な役割を果たしているが、今後も当町の強みを生かした取組を進めてほしい。

この人に聞く

えりも町国保診療所所長

あらい むねひろ

荒井 宗大 さん



囲碁は初段くらいです。)

Q 好きな食べ物は？

A 海鮮・焼肉など何でも。特にえりもで食べたウニが美味しかったです。

Q えりも町に来て、これから挑戦したいことは？

A サーフイン・・・嘘です(笑) えりもの風景写真を撮りたいです。

Q 仕事をする上で気を付けていることは何ですか？

A 医学的根拠に基づいた診断と治療を心がけています。

今回の「この人に聞く」は、えりも町国保診療所所長 荒井宗大さん。プロフィールは、仙台市生まれ・札幌市育ち。札幌医科大学卒業後、札幌・函館・小樽の病院に勤務。内科を中心に総合診療医として従事。家族構成は、妻、子供4人(男4人) (取材・竹内)

Q 健康に気をつけていることは何ですか？

A ストレスを溜めないこと。お酒を飲み過ぎないことです。アルコールは何でも飲みますが、特にビールですね。量は、内緒です(笑)

Q えりも町の皆さんに向けて何か一言。

A これからも宜しくお願いします。(お忙しい中ありがとうございます)



診察の順番を待つ患者さん

Q 医師という職業を選ばれたきっかけは？
A 高校卒業と同時に父親が他界したことで、医師になることを決意しました。

Q 趣味は？

A ギター・囲碁・将棋・カメラ(ギターはフオークソングを弾きます。カメラは少し離れていました。

議会の動き

11月16日	えりも高等学校創立70周年記念式典
11月18日	第10回子ども議会
11月21日	日高東部消防組合議会 全員協議会
12月6日	議会運営委員会
12月13日	全員協議会 第4回定例会 広報広聴常任委員会
12月24日	日高東部消防組合議会 日高東部衛生組合議会
1月5日	えりも町消防団出初式
1月10日	広報広聴常任委員会
1月12日	成人式

編集後記

30年余り続いた元号の平成が令和に変わり、5月1日にスタートした令和元年は、245日をもって2年へと歩みを進め、初の新年を迎えました。

令和元年の「今年の漢字」は「令」に決まり、流行語大賞には、ラグビー・ワールドカップ日本代表のスローガン「ONE TEAM」(ワンチーム)が選ばれました。

さて、競歩とマラソンが札幌市で行われるオリンピッククイヤーの令和2年ほどのような漢字が、そして流行語大賞は。

いずれにしても災害のない明るく穏やかな一年となることを心から願ってやみません。(神田)

広報広聴常任

委員会委員

- 委員長 橋本 維忠
- 副委員長 高松 亮裕
- 委員 竹内 孝文
- 委員 神田 修
- 委員 上野 陽司